

な貝から（オーボエのような音を出す）、ガラスの器に水の量を変えて入れたものをスプーンで打つ、長さの違いをぶらさげる（シロホン）、シンバル（なべのフタ）、

トライアングル、カステネット（貝）、タンバリン（紙のお皿）。

木の楽器：木片、木箱。

針金の楽器：パンジョー、ギター（タバコ箱などで作る）。

作った楽器を使って初め思ひおもいに音を出させる。非常にうるさいが、それをさせる必要がある。次にだんだんにピアノ、歌、指揮者に合わせる。

ピアノの伴奏は上手である必要はないが、子どもたちを理解し、動きを把握することが出来なくてはならない。子どもたちが動作しながら話すことを記録して口ずさみ、教師が手助けして歌を作る。レコードを聞いて感じをつかみ、動きについて話し合い、やってみる、打楽器で打ってみる。

十、動きと思ひつき

動きの材料になるものが具体的に細かくあげてある。例えば、機械、乗物、動物、スポ

ーツ、季節、職業、物語、音、色、絵、最近の経験（遠足など）、学科で学んだこと（外国の文化、歴史など）などの各々がまた細かく説明されている。結核、身近に経験する全てのもので動きの材料となるわけである。

また、休息のためには、空気を抜いた風船、縮まったゴム、とけたロウ、アワなどの案があげてあり「だんだん空気が抜けてどうとうベシヤンコになりました」というような指示をすると子どもたちはその通りに動き、自然に休息に入れる。

十一、学校の教科における創造性

二学年担当のある教師が「時計」の指導をしたその案が書かれているが、各教科と関連を持たせて、国語、数学、音楽、社会、図工など、どの教科も同じ主題で通している。単に教師中心に「聞いて学ぶ」のではなく、子どもたち自身で本も読み、作文、音楽鑑賞、作詞などをする機会を与え、グループごとになりズムの動きをさせるなどして、本当に学習が子ども自身のものに来るようにプログラムが仕組まれている。

（東京・あけぼの幼稚園）

幼児の教育 第五十九巻 第六号

六月号 ◎ 定価 五十円

昭和三十五年五月二十五日印刷

昭和三十五年六月 一日発行

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

編集兼 津 守 真
発行者

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所 フレーベル館 にお願ひいたします。